

壹瀬小だより



やさしさ ゆめ げんき

令和4年1月11日
No. 19
文責 福永琢也

☆明けましておめでとうございます。

年が明け、令和4年となりました。それぞれのご家庭でもよい年越しをされたことでしょうか。3学期をもって学年が終了しますが、それも残り3か月となりました。これまで通り保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

学級ではそれぞれの子どもが新年への思いを書いています。内容は様々ですが、自分を成長させようという気持ちを十分に感じるものです。その願いが叶うように教職員一同取り組んでいきます。

今月は授業参観が予定されています。子どもたちの頑張りを参観いただき、励ましをいただければと思います。

☆始業式の話から

- 「あけましておめでとう」何がおめでたいのか？何が開けるのか？きちんと意味がある。
- 新しい年は令和4年、でも学校ではまだ令和3年度。年と年度の二つの言い方がある。
- （桜の木の四季の姿を見ながら）今は葉も落ちてしまっているが、よく見ると「芽」が出てきている。これは来年の春の準備。
- みんなもこれから次の学年の準備に取りかかって欲しい。そのキーワードは「まとめる」学習したことをしっかりと自分の中でまとめて次の学年に進んで欲しい。

☆始業式児童代表のことばから 児童代表 6年 さん

※原文は長文のため、一部要約しています

2学期を振り返ってみると、運動会や修学旅行などの行事や体育の学習はがんばったけど、まだ中学生になる準備ができていないことを感じています。

そこで3学期の目標を2つたてました。1つ目は昼休みに少しでもいいから外に出ることです。なぜならもうみんなと遊ぶことができなくなるし、中学校で入る予定の部活に備えるためです。

2つ目は算数をがんばることです。中学生になったら数学になり、レベルが上がるからです。今までのようにしていたら授業に追いつかなくなると思います。姉に聞いたら、「小学校の内容を覚えておけば大丈夫」と言われたから、だからさらにしっかりと復習をしたいと思います。